



R.I. District2610 . ROTARY CLUB OF UOZU

## 魚津ロータリークラブ 会報誌

2008 - 2009 年度 RI 会長 李 東建 (リ トンカン)

魚津 R.C 会長 大村 雅紹

### 第 2645 回 例会報告

2008 年 8 月 29 日

**ゲスト並びにビジター紹介** ゲスト 広瀬 充弘様 (真行寺住職) ビジター なし

**誕生祝** 8 月 28 日 杉野夫人 家内の誕生日のお祝いをありがとうございます。彼女は 81 歳になりますが、今年二度の入院などいいことがなかった。私も大変でした。今は、割合元気になりました。今後ともよろしく願います。

8 月 24 日 羽田夫人 妻の誕生日のお祝いをありがとうございます。還暦と言う事で子供達から赤いちゃんちゃんこ風なものを贈られていました。今年は孫も増えます、夫婦元気でやって行きます。



8 月 28 日 中田君 53 回目の誕生日を迎えました。今回、自分でやれることとして、禁煙に向けて準備をしています。今日から実際に始まり、何が何でもやるということで頑張っています。



8 月 31 日 岡崎君 8 月 31 日は小さい頃は夏休みの宿題に追われていました。会社では支払い、返済、資金繰りに追われていました。いつも気がつくとも 9 月に入っていました。82 歳になり、日本人男性の平均寿命より二つ多い、これまで無難に長生きした事を祝っていただいたのだろうと感謝いたします。

**米山奨学生** なし

**会長挨拶** 大村会長 ゲストの広瀬さんありがとうございます。誕生日をお迎える皆さんおめでとうございます。中田さん、次の時、禁煙の状況報告をお願いします。会長になりまして 2 ヶ月が過ぎました。それぞれ委員会を開いておられますが、諮問委員会の方全員にお集まり頂き指導を頂いております。各委員会もエンジンを全開にして方針を全うして頂きたいと思っております。8 月 26 日、金沢で第 31 回インターアクト年次大会が結構盛大に行われ、魚津工業高校も含め関係者が参加しました。今後のインターアクトの運営など検討し、組織を続けるように頑張らなければならないと感じております。

植木の話ですが、「サルスベリ(百日紅)」が真っ盛りです。花は紅とか白とかありますが、花の期間は長く、夏にはなくてはならない木です。市内では 8 号線の企業団地の両サイドに街路樹として 10 年ほど前に植えたものがあるが、成長が遅い木で大きくなるのに時間がかかります。

**幹事報告** 米山梅吉記念館より 館報 事務局にあり

**出席報告** 32 名 88.88% 欠席：4 名 メイキャップ：中島、関口、有澤、寺崎

第 2643 回 メイキャップなし 出席率変更なし

**ニコニコボックス** 野澤君 8/26 インターアクト年次大会 関係者の出席ありがとうございました。

**生駒君** 小林綾子主演、「聾啞のお婆ちゃんの…」放映実行委員長 ご協力の程よろしく願います。

**委員会報告など** 清水さん 前年度会計報告・・・詳細は、「魚津 RC 事業決算書」参照

浅野さん 事業、決算の監査について適正であることを報告 全員 内容について拍手により承認。

生駒さん 「ヘレンケラーを知っていますか」、小林綾子さんが主演の感動の自主映画で、当日も挨拶をします。9/15 敬老の日、新川文化ホール、小学生無料です。是非、見ていただきたい。

根岸ガバナー補佐 9/12 ガバナーの本年度公式訪問があります。皆勤出席で願いたい。

以下について、皆様にもご協力を頂きたい

RI会長「リー・ドンカン」氏のターゲットについてどう思われるか

高柳ガバナーの本年度目標を理解しておいてほしい

各委員会は本年の事業計画について会議・フォーラムを行ったか 急いでください、報告を  
クラブ拡大、会員獲得の目標は...

ポリオ撲滅の協力について...

特に力を入れた委員会活動は何ですか うち、インターアクトを心配している

その他...ロータリー財団、米山奨学金の状態は...、出席率、退会防止の協議は...

11/9のIMに関し、各クラブ訪問が必要です。会長、幹事、実行委員長の支援を頂きたい

**本日の卓話** ゲスト卓話 真行寺 広瀬住職 ...【お釈迦様のさとり】

【経歴】 龍谷大学 大学院卒 西本願寺修学院3年勉強 魚津市 真行寺 継ぐ



【卓話】 皆様は、仏教を信じておられますか、信じておられる方は26%、74%は信じていない様です。しかし、徳川幕府時代に制度が出来て、必ずどこかのお寺に属さなければならないとなり、お寺は戸籍の管理も務めていたようです。どこかのお寺の門徒で檀家...の流れが今でも続いているのに実際は26%です。しかし初詣は全国的にとんでもない数が動きます。神様仏様に現実的な何かをお願いするのであります。「お釈迦様のさとり」とは、お釈迦様が見つげ出されたもの、至られたもの、そういうものではないという事です。お釈迦様は小さいながら一国の王子として生まれられました。当時、王家が民を見る行事があった。土を耕す、虫がいる、鳥が啄んで行くのを見てこの世は苦しみの世界なのだと思われた。また、沢山の老人に会う、葬式の列に出会う、病人に会う、これら多くの人達のために何か出来ないかと言う修行者に会い、精進・努力の身であると言うことを聞かされ出家の原因になったと言われている。



お釈迦様は出家される訳であります、本当の「お釈迦様のさとり」と今の仏教と言われているものとはかなり違うのかも知れません。お正月に求めるお札・お守りが、なんとか寺で売られていること自体がおかしいという事であり、お釈迦様は、そんなことは一言も言っていないのであります。お釈迦様が生きていらっしゃった時はすでに文字がありましたが、書き留めておられず、

後になってこう言っておられたと纏めたのが今のお経です。

仏教が出来上がるまでには紆余曲折があります。歴史上、インダス文明の後、アリア人が侵入し支配します。アリア人は宗教を作り上げるわけですが、それがバラモン教です。もう一つ今でもあるカースト制度です。バラモン教は、アートマン「我」とブラーマン「梵？」を作り上げ、一緒、同じものが存在する事を認識することにより我々は救われると言う考えです。「我」は永遠不滅で絶対変化しないもの、私たちは魂と呼んでいるのかも知れません。バラモンは「我=有」です。しかしお釈迦様はそれを否定し仏教では「無」としています。時は流れ...、人間は物質から出来ており、最終的には元素になり終わりと言う「有物論」が出てまいります。今の日本の若者達がそう思っているのとあまり変わらないのです。お釈迦様はその時代に登場し、「縁起」について、「ムミョウ」...「ショウ」



「ロウ」「シ」の12個言われて、すべて有機的に繋がっているとっておられる。こうなったからこうなる、これがあるから今ここにこれがある...と言う当たり前のことが「お釈迦様のさとり」です。お釈迦様が見つげられたものは、「この私、今の苦しみ、人間として生きている苦しみ、どうすれば克服・解決できるか」だけであった訳です。